

松本看護大学

松本看護大学 養成する人物像

人々が健康に生きることを支援し、あわせて地域社会における保健医療福祉の連携と発展に貢献していくため、本学の養成する人材像を次のように定めます。

生命の尊厳に基づく倫理観と幅広く深い教養を有し、生涯を通じて知識・技術を学び続け、地域の保健医療福祉に対する理解と看護に必要なかつ十分な知識と素養を有し、多職種と連携・協働し、地域の保健医療福祉の向上に貢献できる看護実践能力をもった看護職者

看護学部 教育目標

松本看護大学が養成する人物像とその人材像を内包する3つの柱を策定し、この柱を軸に人材の育成を目標とする。

1) 養成する人物像

生命の尊厳に基づく倫理観と幅広く深い教養を有し、生涯を通じて知識・技術を学び続け、地域の保健医療福祉に対する理解と看護に必要なかつ十分な知識と素養を有し、多職種と連携・協働し、地域の保健医療福祉の向上に貢献できる看護実践能力をもった看護職者

2) 養成する人物像に内包される3つの柱

(1) 人間性

- ・生命の尊厳に基づく倫理観を有し、幅広く深い教養と誠実な人間性を備え、多様な価値観を尊重し、人々との関係を成立・発展できる人材

- ・生涯を通じて自ら学び、社会人としてまた、専門職業人として自己研鑽と自己成長を通じ看護の発展と地域貢献のために主体的・積極的・意欲的に行動できる人材

(2) 看護実践力

- ・看護に必要な知識の追求と素養を有し、科学的根拠・理論的知識を元に安全に個別的に最善の看護が実践できる人材

- ・生命力、自然治癒力、意志力といったその人のもてる力を最大限生かした看護が実践できる人材

(3) 地域貢献

- ・地域の保健医療福祉に対して深い洞察力と分析力を有し、その現状を理解し、また、健康課題を明らかにし、地域の発展のために多職種の人々と協働し、貢献できる人材